

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	サンキ・ウエルビー株式会社	代表者	並川 寛	法人・事業所の特徴	常にお客様本位の介護サービスが提供できるよう努めていきます。明るく、働き甲斐のある職場環境の中で、スタッフ一人ひとりが研鑽し、サービスの質の向上に努めていきます。地域に根ざした事業所づくりを目指していきます。
事業所名	小規模多機能センター出雲	管理者	堀田 利恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	人	2人	1人	1人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	新規の関りだけで終わらず、利用者さまの～したいに着目し、誕生日前に人型シートを活用し、その人らしくやりたいこと、行きたい所の情報収集をし、叶えていけるよう努める。	新規利用開始時には聞き取りを行い、情報収集をして共有することができたが、新規以外では人型シートを活用しての各利用者さまの～したいの聞き取りが不十分であった。	チームで取り組む時は、目指すべき「目標」を明確にしておく必要がある。記録が不十分であるのなら、今の時代、手書きではなく、タブレットを導入するなどの工夫も必要ではないか。時間の短縮にもなると思う。	新規の際の人型シートはサービス提供票と共にクリップではさみ、サービス提供記録と共に記入でき、記入しやすくする。送迎時に家族からの聞き取りを行い情報収集、共有していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	テラスや玄関に季節の寄せ植えを定期的に行い、利用者様、来客者に季節感を感じていただく。机の椅子の配置も工夫しながら居心地の良い環境を整えていく。	季節の寄せ植えを定期的に行うことができ、玄関には季節を感じられる飾りつけをして利用者さま、来客者の皆さまに季節感を感じていただくことができた。机、椅子の配置を変えたり、畳のスペースの活用をして居心地よく過ごしていただくことができた。	非常に清潔感があり、整理整頓もきちんとされている。全く臭いもなく、逆にどうしたらこんな風に臭いゼロにできるのか教えて欲しい。玄関には、きれいなお花を育てておられ、癒される感じもある。日々の積み重ねが結果にあらわれている。	毎月の花植え、フラワーアレンジメントの実施、玄関、ホール内には季節感を感じられる飾りつけを行うことを継続をしていく。インカムの使用で利用者さまのプライバシーを守り、居心地の良い環境づくりをしている。
C. 事業所と地域のかかわり	奇数月の地域清掃活動の継続。グリーン大社など地域清掃活動にも参加し地域の方との交流を行う。コミュニケーションセンターにも出向きボランティアさんとの交流会を設ける。	奇数月の地域清掃活動は継続できている。地域の行事にどんなものがあるのか把握できておらず、参加することができなかった。ボランティアセンターにお願いしてボランティアの方に来ていただく機会を設けることができた。	地域行事への参加については、年度初めにおよその行事予定が決まるため、町内会長と連絡を取り合っていくようにしましょう。以前は「とんどさん」もしていたが、今はしていない。地域の清掃活動を長く続けていることは地域の方も知っておられる。	ボランティア委員を決め、ボランティアセンターと連携を図り、2ヶ月に1回はボランティアを招き入れる。家族会を年1回開催し、スタッフと家族、家族同士のかかわりを持つ機会を設ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域のお店での外食の機会や一緒に食材の買い物にも出かけることで地域との関係づくりを行う。季節感が感じられる行事を取り込み、昔ながらの行事計画、準備を一緒に行っていく。	外食の機会を設けることはできなかったが、利用者のなじみの店へ一緒に買い物に行くことができた。行きつけの美容院の利用の継続ができるよう支援することができた。地域の季節の行事の把握、参加ができていなかった。	利用者の状態によって、できない違いは大きいと思う。外食も、スタッフの方の人数やその日の状況によって難しい時もあると思うが、利用者が楽しみを持って生活できるよう支援して欲しい。	年度初めの運営推進会議で地域の季節の行事を町内会長さんに確認し、利用者さまと一緒にスタッフも参加できるよう計画を立てる。利用者さま個々のなじみの店の把握をし継続して利用できるよう支援していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の場で地域の高齢者のお困りごとの相談を行っていく。転倒や離脱事故に繋がるヒヤットした事業所の事例を用いて意見交換を行う。参加したことがない利用者様スタッフも会議に参加できる機会を作る。	運営推進会議の場で地域の高齢者の困りごとについての話し合い、事業所の事例を用いての意見交換することができた。利用者さまの参加の機会にはなかった。参加したことのないスタッフが参加することはできなかったが資料作成において携わることができた。	地域の中で、一人暮らしの方への支援をどのようにしていけばいいのか、相談することができた。運営推進会議は、専門的な話を聞ける機会でもある。リスク管理の徹底をしっかりとっておられると感じた。	運営推進会議での内容をミーティング時に全スタッフに報告し周知する。利用者さま、参加したことのないスタッフが参加できるよう調整する。家族へも毎回の参加の声がけをしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	災害時の避難訓練の後、実際に避難災害食を試食する。期限の確認や利用者すべての口に合うものか？検討会を行う。大社町の一斉合同避難訓練へのスタッフ、利用者の参加を行っていく。	訓練後ではないが災害食の試食検討会を行い、利用者の食事に適しているかの確認、期限の確認をすることができた。大社町の一斉合同避難訓練への参加はできていない。	近年非常に大きな災害が起きている中で、スタッフの方は施設入居者や利用者の安全確保をしていくことはとても大変な事だと思う。日頃の訓練や備えがいざという時に役に立つ。どこに避難するのか全スタッフが知っておくことが必要。	定期的に備蓄品、災害時の持ち出し品の確認をし緊急時に備える。利用者個々の食形態にあった災害食を検討していく。(ムース食など)大社町の合同避難訓練の日程を把握し、利用者さまと一緒にスタッフが参加する。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	7		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤スタッフの 2/3 以上の参加が望ましい	7		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	5		2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5		2

【前回の改善計画に対して意見】

新規利用開始時には聞き取りを行い、情報収集をして共有することができたが、新規以外では人型シートを活用しての各利用者さまの～したいの聞き取りが不十分であった。

【今回の 9 つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※事業所：新規利用開始時には聞き取りを行い、情報収集をして共有することができたが、新規以外では人型シートを活用しての各利用者さまの～したいの聞き取りが不十分であった。記録もなかなか書きにくく、不十分であった。目標に対する記録をつけるようにすると皆が目にするのではないかな。

近隣事業所他：チームで取り組む時は、目指すべき「目標」を明確にしておく必要がある。記録が不十分であるのなら、今の時代、手書きではなく、タブレットを導入するなどの工夫も必要ではないかな。時間の短縮にもなると思う。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

近隣の方より：どこの施設も人手不足で大変だと思います。人手不足の中でも利用者さんに楽しんでもらうために色々と行事などをやっておられて、忙しいとは思いますが、しっかりやっておられるなあと思います。

【改善計画】※後日記入

新規の際の人型シートはサービス提供票と共にクリップではさみ、サービス提供記録と共に記入でき、記入しやすくする。送迎時に家族からの聞き取りを行い情報収集、共有していく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7		
3	事業所内外において、不快な音や臭い等はないですか？	1	6	
4	日中、事業所の門や玄関は施錠されずに開放されていますか？	7		

【前回の改善計画】

テラスや玄関に季節の寄せ植えを定期的に行い、利用者様、来客者に季節感を感じていただく。机や椅子の配置も工夫しながら居心地の良い環境を整えていく。

【「事業所のしつらえ・環境」】

ご家族様：非常に清潔感があり、整理整頓もきちんとされている。全く臭いもなく、逆にどうしたらこんな風に臭いゼロにできるのか教えて欲しい。玄関には、きれいなお花を育てておられ、癒される感じもある。日々の積み重ねが結果にあらわれているなど感じる。

事業所：季節の寄せ植えを定期的に行うことができ、玄関には季節を感じられる飾りつけをして利用者さま、来所者の皆さまに季節感を感じていただくことができた。机、椅子の配置を変えたり、畳のスペースの活用をして居心地よく過ごしていただくことができた。

【今回の改善計画】※後日記入

毎月の花植え、フラワーアレンジメントの実施、玄関、ホール内には季節感の感じられる飾りつけを行うことを継続をしていく。インカムの使用で利用者さまのプライバシーを守り、居心地の良い環境づくりをしていく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		2
1	スタッフはあいさつできていますか？	6		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4	1	2

【前回の改善計画】

奇数月の地域清掃活動の継続。クリーン大社など地域清掃活動にも参加し地域の方との交流を行う。コミュニティーセンターにも出向きボランティアさんとの交流会を設ける。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

事業所：奇数月の地域清掃活動は継続できている。地域の行事にどんなものがあるのか把握できておらず、参加することができなかった。ボランティアセンターをお願いしてボランティアの方に来ていただく機会を設けることができた。

地域の方：地域行事への参加については、年度初めにおよその行事予定が決まるため、町内会長と連絡を取り合っていくようにしましょう。以前は「とんどさん」もしていたが、今はしていない。地域の清掃活動を長く続けておられることは地域の方もよく知っている。大変な中、頑張っておられると思う。

【改善計画】※後日記入

ボランティア委員を決め、ボランティアセンターと連携を図り、2ヶ月に1回はボランティアを招き入れる。

家族会を年1回開催し、スタッフと家族、家族同士のかかわりを持つ機会を設ける。

D. 地域に出向いて利用者の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		2
1	事業所は、家庭的な生活環境の中で日常生活が送れるよう可能な限り利用者と食事や清掃、洗濯、買い物、園芸、農作業、レクリエーション、外出、行事参加など行っていますか？	7		
2	事業所は、利用者本人を身近で支えたり、心配してくれる方々の存在を把握し連携して支援していますか？	6		1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		1
4	事業所は、地域に必要とされる拠点であるために、利用者以外の地域で心配な方に気づいたり一緒に考えたりするよう努めていますか？	6		1

【前回の改善計画】

地域のお店での外食の機会や一緒に食材の買い物にも出かけることで地域との関係づくりを行う。

季節感が感じられる行事を取り込み、昔ながらの行事計画、準備を一緒に行っていく。

【「地域に出向いて利用者の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

地域の方：利用者の状態によって、できる、できないの違いは大きいと思う。外食も、スタッフの方の人数やその日の状況によって難しい時もあると思うが、利用者が楽しみを持って生活できるよう支援して欲しい。

事業所：外食の機会を設けることはできなかったが、利用者のなじみの店へ一緒に買い物に行くことができた。行きつけの美容院の利用の継続ができるよう支援することができた。地域の季節の行事の把握、参加ができていなかった。

【改善計画】※後日記入

年度初めの運営推進会議で地域の季節の行事を町内会長さんに確認し、利用者さまと一緒にスタッフも参加できるよう計画を立てる。利用者さま個々のなじみの店の把握をし継続して利用できるよう支援していく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7		
2	運営推進会議では、利用者以外の高齢者の事例検討が行われていますか？	5		2
3	運営推進会議では、地域の行事や地域の困りごとの話題があり、一緒に取組む検討が行われていますか？	6		1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	7		

【前回の改善計画】

運営推進会議の場で地域の高齢者のお困りごとの相談を行っていく。転倒や離設事故に繋がるヒヤットした事業所の事例を用いて意見交換を行う。参加したことがない利用者様、スタッフも会議に参加できる機会を作る。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

地域の方：地域の中で、一人暮らしの方への支援をどのようにしていけばいいのか、相談することができた。運営推進会議は、専門的な話を聞ける機会でもある。リスク管理の徹底をしっかりとっておられると感じた。

事業所：運営推進会議の場で地域の高齢者の困りごとについての話し合い、事業所の事例を用いての意見交換することができた。利用者さまの参加の機会はなかった。参加したことのないスタッフが参加することはできなかったが資料作成において携わることができた。

【改善計画】※後日記入

運営推進会議での内容をミーティング時に全スタッフに報告し周知する。利用者さま、参加したことのないスタッフが参加できるよう調整する。家族へも毎回の参加の声かけをしていく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	1	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	6	1	
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2	5	
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	5	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6		1

【前回の改善計画】

災害時の避難訓練の後、実際に避難災害食を試食する。期限の確認や利用者すべての口に合うものか？検討会を行う。

大社町の一斉合同避難訓練へのスタッフ、利用者の参加を行っていく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見

地域の方：近年非常に大きな災害が起きている中で、スタッフの方は施設入居者や利用者の安全確保をしていくことはとても大変な事だと思う。日頃の訓練や備えがいざという時に役に立つ。どこに避難をするのか全スタッフが知っておくことが必要。地域との協力体制をとっておくとよい。

事業所：訓練後ではないが災害食の試食検討会を行い、利用者の食事に適しているかの確認、期限の確認をすることができた。大社町の一斉合同避難訓練への参加はできていない。

【改善計画】※後日記入

定期的に備蓄品、災害時の持ち出し品の確認をし緊急時に備える。利用者個々の食事形態にあった災害食を検討していく。（ムース食など）大社町の合同避難訓練の日程を把握し、利用者さまと一緒にスタッフが参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月31日
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	堀田、藤井、長岡、山本龍、鎌田、野尻、宮本、青木、三成、森山、嘉田、泉川、横手、山本香

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組むことができましたか？	人	9人	5人	人	14人

前回の改善計画	人型シートの準備を新規利用者の担当が行う。利用初日は朝礼時に声がけし、その日のスタッフは終礼時までに聞き取りしたことを1つ以上書き込む。人型シートをサービス提供票と一緒にクリップで綴じて意識づけを行い、より書きやすくする。
前回の改善計画に対する取組み結果	人型シートの準備は利用初日までにできた。最初の頃は皆で声をかけ合い記入することができたが、時間が経つとともに意識がうすれ、提供票と一緒に綴じることも忘れてしまっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じてスタッフ間で共有できていますか？	2	12			14
②	サービス利用時に、利用者や家族・介護者が、必要としている支援ができていますか？		12	2		14
③	利用者がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？		12	2		14
④	利用者を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりができていますか？		10	4		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 新規利用者が利用開始する前に情報を収集し、共有することができた。人型シートを準備し声がけて皆で書こうという意識づけはできている。利用初日には関わりを多く持ち、関係づくりをすることができている。本人の不安、家族の心配事を聞き取り、利用時に配慮することができている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 人型シートの記入が限られたスタッフのみであり、記入も最初だけでいつの間にか途切れてしまっている。情報収集、関係づくりも慣れてこられると意識がうすれてしまい、関わりが少なくなってしまう。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 人型シートを全体のシートとは別にスタッフ全員に配り、1ヶ月間記入する。1ヶ月後、担当が回収しまとめる。すぐに皆に知ってほしい情報は自分のシートとともに全体のシートにも記入していく。提供票と一緒に綴じること、朝礼時、終礼時での声がけは引き続き行っていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月31日
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	堀田、藤井、長岡、山本龍、鎌田、野尻、宮本、青木、三成、森山、嘉田、泉川、横手、山本香

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組むことができましたか？	人	5 人	9 人	人	14 人

前回の改善計画	ときめきプロジェクトの担当者が次月のプロジェクトをミーティング時に発表し、行事担当者と協力して行う。掲示板は毎月更新する。介護計画書の作成、更新をした場合には支援経過ファイルに利用者ごとに綴じ、全スタッフが確認できるようにしておく。手順書を毎月の帳票整理で確認する。新しいスタッフに伝達する時には手順書を用いて伝達し、変更点があれば更新する。更新したことは終礼時に周知する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ときめきプロジェクト自体を知らないスタッフもあり周知できていなかった。掲示板の更新が月1回出来ておらず、同じ掲示物が何ヶ月も掲示されていた。介護計画書の確認、手順書の更新もできていなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	「利用者の長期的な目標（ゴール）」が理解できていますか？		5	9		14
②	利用者の短期的な目標「～したい」が理解できていますか？		5	9		14
③	利用者の短期的な目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		4	10		14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かすことができていますか？		7	6	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
～したいのゴールの理解はむずかしいが、～に行きたい、出かけたい、～が食べたいなど、日々の関わりで理解し、実現にむけることができている。ミーティング、終礼時にカンファレンスを行い、支援方法の見直しを行うことができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
～したいの情報収集、個別の関わりがうすい。手順書、掲示板の更新ができていない。利用者個々の目標の理解ができていない。支援方法の見直しを行った際のその後どうであったかの後追いができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
掲示板の更新については行事が終わったら行事担当が更新していく。介護計画書が作成されたときには、計画作成者とその利用者の担当者が話し合い、これだけは必ずやっていく目標を決め、ミーティング時に発表する。カンファレンスをした場合、次月のミーティング時にその後の様子を話し合う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月31日

3. 日常生活の支援

メンバー 堀田、藤井、長岡、山本龍、鎌田、野尻、宮本、青木、三成、森山、嘉田、泉川、横手、山本香

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組むことができましたか？	3 人	8 人	3 人	人	14 人

前回の改善計画	年1回の家族会の計画、実施。 調理実習という形ではなく、食についての行事を月1回行う。（外食、バーベキュー、鍋、ドライブスルーでの買い物など。ときめきプロジェクトとして行ってもよい。）
前回の改善計画に対する取り組み結果	9月に家族会を計画し実施することができた。食についての行事を行うことはできたが月1回行うことはできなかった。買い物に一緒に出かけることもなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	利用者の「以前の暮らし方」を把握できていますか？	1	8	5		14
②	利用者の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	12			14
③	事業所内において、利用者への日々のかかわり方や記録を共有できていますか？	2	12			14
④	利用者の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度利用者とスタッフで共有できていますか？	2	12			14
⑤	利用者の気持ちや体調の変化に気づき、即時的に支援できていますか？	3	10	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の状態の変化に気づき、対応できている。その都度、スタッフ間で、記録、朝終礼時、ミーティングで情報共有することできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者個々の「以前の暮らし方」の情報収集ができてない。利用者の日々の関わりを細かく記録を残すことができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
食についての行事は継続して行っていく。月1回行えるよう行事担当が計画し、行事の買い物は利用者と一緒に外かける。利用者の誕生日月には全スタッフが関わりを持ち、収集した情報を支援経過に残す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月31日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	堀田、藤井、長岡、山本龍、鎌田、野尻、宮本、青木、三成、森山、嘉田、泉川、横手、山本香

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組むことができましたか？	人	6人	8人	人	14人

前回の改善計画	5月（年度初め）の運営推進会議にて今年度の地域行事について町内会調様に確認し、一年を通して計画をたて参加する。認知症カフェの開催予定を把握し、多くの利用者が様々な認知症カフェに出掛けられるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	年度初めの運営推進会議で地域行事の確認をしたが、地域行事自体を行われない様子だったため、参加できずに終わった。認知症カフェはチラシの配布等あり、実施状況を確認でき、1名の利用者と共に参加することは出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	利用者の自宅や地域での暮らしぶりを知っている家族や近所・知人等の人間関係等を理解できていますか？		5	9		14
②	利用者と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援ができていますか？		7	7		14
③	利用者の地域での役割や生き甲斐、これまでの人生で培ってきた、支えたり支えられたりする関係性を分かろうとしていますか？		6	8		14
④	利用者と周囲（近所・知人等）とのかかわりを調整し、民生委員や地域資源（※）を把握していて、必要に応じて、それを活かし利用者を支えていますか？		5	8	1	14

※NPO法人／ボランティア団体（ex 認知症カフェ）、介護事業者、医療関連、民間企業（ex 介護タクシー、配食サービス）、行政（ex 包括支援センター、社協）、制度（ex 生活保護、成年後見人制度）、サロン、行きつけの店 等

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
認知症カフェに参加出来た。また、一部の利用者だが馴染みの美容院を定期的に利用できる様支援出来ていた。行政とも連携が取れていた。必要に応じて配食サービスを手配するなど地域（自宅）での暮らしを支えてきた。秋祭りに地域の皆様にたくさん参加していただくことができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域での行事に参加出来ていない。地域資源に関して情報収集不足もあり、一部の利用者しか利用できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者と出掛ける回数を増やす。地域のお店と一緒に買い物に出かけたり、保育園や学校の運動会や文化祭などの行事を訪ね、可能ならば参加（見学）させていただけるよう依頼する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月31日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 堀田、藤井、長岡、山本龍、鎌田、野尻、宮本、青木、三成、森山、嘉田、泉川、横手、山本香

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組むことができましたか？	1人	8人	5人	人	14人

前回の改善計画
集団レクに参加されない方、参加しても出来にくい方を対象に個別ケアの内容をモニタリングの項目に落とし入れ意識付けをし実施する。拠点会議のカンファレンス時に、併せてモニタリング項目についても検討し随時変更する。その日の担当を決め支援経過を記入する気持ちの変化、良かった点も記入していく
前回の改善計画に対する取り組み結果
通い・訪問・宿泊サービスは状況に応じて柔軟に対応していた。経過記録は、一部のスタッフしか記入できていない。体調面だけでなく、行事参加等の記録も少し増えていた。モニタリングはただの○付けになっており中止するが、方向性の情報共有が出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援ができていますか？		10	4		
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供できていますか？	4	10			
③	日々のかかわりや記録から利用者の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	9	1		
④	その日・その時の利用者の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	12			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
通い・訪問・宿泊サービスについてはご家族・利用者の状況に応じて柔軟に対応、調整が行えていた。状態変化についての情報共有や変化に合わせた支援も行えていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
個別支援が不十分で集団レクやテレビ体操などワンパターン化している。モニタリングの○付けがなくなり、更にその人の目標や支援すべき方向が共有出来ていない。記録についても、リーダー任せで内容も薄く、体調面についての記録は多いが、本人の希望、思いについての記録はうすい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
受け持ちの担当者の支援目標を確認し、何が必要で、何が出来てどうすれば機能維持に繋がられるかを見直す。集団レクにとらわれず、個別で身体を動かしたり趣味や楽しみを行えるよう発信、支援していく。キラキラされていた場面、言葉を発せられた時には必ず記録に残す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月31日
6. 連携・協働	メンバー	堀田、藤井、長岡、山本龍、鎌田、野尻、宮本、青木、三成、森山、嘉田、泉川、横手、山本香

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
⑥	前回の課題について取り組むことができましたか？	1人	10人	4人	人	14人

前回の改善計画	ボランティア委員を決め、ボランティアセンターに確認し2ヶ月に一回ボランティアを招き入れるよう調整を取り実施する。運営推進会議に家族も参加してもらう。また、家族会を実施しセンターの様子を知っていただく機会を増やす。こぐま保育園に依頼・調整し来所してもらい園児との交流が図れるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ボランティア委員も決まり、概ね2ヶ月に一度来ていただき行事を行うことができた。運営推進会議に家族に参加していただくことはできなかった。家族会を開催し交流を持つことが出来た。こぐま保育園との交流は途中で話が途切れ実施に至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	利用者が自宅や地域での暮らしを継続するために、事業所は各サービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）と連携できていますか？	3	11			14
②	日常生活圏域の中で、事業所は自治体や地域包括支援センターと連携できていますか？	2	9	3		14
③	事業所は、地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		5	19		14
④	地域包括ケアの拠点として、登録者に限らず高齢者や子ども等の地域住民が事業所へ遊び等訪れる体制ができていますか？	1	4	9		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
運営推進会議では地域や行政の方と情報交換を行うことが出来ていた。ボランティア委員を決め定期的に活用出来ている。2ヶ月に一度の清掃活動も継続できている。家族会や秋祭りの実施で家族や地域住民と交流の場を持つことが出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
運営推進会議の参加が限られたスタッフや家族になっており、他スタッフは内容把握や交流の機会が疎かとなった。地域の保育園や小学校と交流の場を持つ企画が出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
保育園との交流が持てる場を具体的に計画、依頼する。また、小学生の福祉教育の一環として見学に来てもらい交流を図ってもらうよう話を進める。年二回の防災訓練の内一回は地元消防団の参加を呼びかけ指導、協力いただく。秋祭り、家族会は継続し交流の場を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月31日

7. 運営

メンバー 堀田、藤井、長岡、山本龍、鎌田、野尻、宮本、青木、三成、森山、嘉田、泉川、横手、山本香

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組むことができましたか？	2人	12人	人	人	14人

前回の改善計画	二か月に一回の運営推進会議においての報告を、短時間でもミーティング時に行い、全スタッフが内容を周知する。家族会の開催の計画、実施をし、家族同士・スタッフ間との関わりの機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議の報告を、ミーティングにて報告することが、継続して行うことが出来ていなかった。家族会は9月に開催する事が出来、ご家族やスタッフ間とのコミュニケーションも取れ、利用者も含め、皆で楽しい時間が共有出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	スタッフとして自ら、より良い職場環境づくりに向けた話し合いや提案ができていますか？	1	12		1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を事業所の運営に反映していますか？	1	10	3		14
③	地域の方からの意見や苦情を事業所の運営に反映していますか？					
④	事業所が地域に必要とされる拠点であるために、登録者以外の地域の困りごとに気づいたり一緒に考えたりするよう努めていますか？		2	12		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族会の開催によって、スタッフと家族、家族間との交流が出来た。家族からの意見は、すぐにスタッフ間で共有し、改善に向けて検討・実践に繋げて行く事を行った。常に綺麗で、臭いも無く、清潔感のある施設の環境作り、又、定期的に整理・整頓の環境整備が出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
運営推進会議での報告について十分でなかった為、内容を全スタッフが理解・周知出来ていない。夜勤や送迎に行けないスタッフとご家族との関わりが必然的に少ない。環境整備に関して、いつも同じスタッフが行っているのが現状である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
運営推進会議についての理解を全スタッフが深め、二か月に一回行われた際には、ミーティングの際に内容の報告を行っていく。ご家族が来所された際には、コミュニケーションを積極的に全スタッフが取っていくように心掛け、得た情報・意見はしっかりと周知を行えるようにして行く。環境整備を担当制にして行き、全スタッフが意識していけるような仕組みを作っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月31日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	堀田、藤井、長岡、山本龍、鎌田、野尻、宮本、青木、三成、森山、嘉田、泉川、横手、山本香

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組むことができましたか？	2人	5人	7人	人	14人

前回の改善計画	外部研修委員を設置。担当を決めて、研修の案内が来たら、スタッフが周知出来るようにし、最低年一回の参加を促す。毎日の申し送り時に、事故・ヒヤリハットの内容、対策について周知をし、対策実践を行う。月一回のミーティング時に、事故・ヒヤリハットの対策を行ってみてどうであったかの振り返りを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修委員を中心に、研修案内の情報開示を行う事は出来ていたが、参加率は低かった。ヒヤリハットの対策について、やってみてどうだったのか？の後追いが出来ていない。当日勤務者には内容が伝わるが、休みであったスタッフに対して、きちんとした内容が伝わっていない。全員周知が出来ていないのが現状。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	事業所では、事業所全体の質の向上につなげるため職場内外の研修が計画・実施されていて、参加し易い環境づくりができていますか？	3	10	1		14
②	個人の質を向上するために、資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	2	7	4	1	14
③	事業所の質を向上させるために、都道府県や市町村レベルの地域連絡会や事例検討会にスタッフが参加し、事業所内で情報共有ができていますか？	2	5	7		14
④	予測されるリスクに対し予防的な対応をスタッフとして意識的に取組んでいますか？	2	10	2		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職場内の定期的研修は毎月実施する事が出来ている。ミーティング時にヒヤリハット・事故報告の振り返りが出来ている。スタッフが外部研修に参加する為に、情報開示・共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
外部研修に全スタッフが参加できていない。ヒヤリハットの対策・振り返りを行っているが、対策の後追いが出来ておらず、同じ内容のヒヤリハットが続く事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ヒヤリハット事例が発生した際に、その旨を当日スタッフに報告する。当日終礼にてスタッフ同士で話し合い、対策を決める。実行できるよう全スタッフに周知する。やってみてどうだったかをミーティング時に振り返りを行う。掲示板を用意し、皆に見える所に外部研修の案内が来た際は掲示、全スタッフに周知出来るようにし、参加を促す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月31日
9. 人権・プライバシー	メンバー	堀田、藤井、長岡、山本龍、鎌田、野尻、宮本、青木、三成、森山、嘉田、泉川、横手、山本香

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組むことができましたか？	人		1 人	人	14 人

前回の改善計画	インカムを使用する中で、相手を思いやる言葉掛けを行う。排泄の内容や、個人のプライバシーにあたること、インカムを使つての音量に関しては、注意しながら発信していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	インカムを使用した事によって、プライバシーに配慮する事が出来たが、音量が大きい事もあり、今後もお互いが注意する必要がある。相手に対して、お互いが敬意を持った言葉添えが全体として今後も必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	ほぼ できている	あまり できていない	全く できていない	合計（総人数）
①	家族等への同意なく利用者に対し、拘束（フイジカルロック、ドラッグロック、スピーチロック等）につながる行為を事業所として行っていない。	5	8	1		14
②	事業所において、意識的・無意識的にかかわらず虐待（幼児化・非人格化・非人間化も含む）は行われていない。	4	10			14
③	プライバシーが守られている。	2	10	2		14
④	事業所として、判断能力の不十分な方に対して、保護し支援する成年後見制度について説明ができ、必要な方があれば制度につなげることができている。（または体制が取れている）	1	8	5		14
⑤	適正な個人情報（特定の個人を識別できるデータベース化されていない書面・写真・音声等も該当）の管理ができている。	2	11	1		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
インカムの使用により、プライバシーの保護が出来ている。個人情報の取り扱い、肖像権については守られている。 ミーティングにて、プライバシー・拘束の研修を受け、意識づけが定期的に行われている。スタッフ同士、啓発し合える環境で、「常に誰かに見られている」という意識を持ち、立ち振る舞いに注意して行く事が出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
インカムを活用していても、その声の大きい事がある。言葉の乱れが目立つ場合も多々あった。乱れを把握していても、それが啓発しづらい場面もあり、見て見ぬふり、知らぬふりをしている事もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
トイレ・ルート表のボードの所に、接遇・言葉遣いに関する合い言葉を掲示し、「見える化」での意識づけを行う。朝礼では企業理念とともに唱和を行う。その場で言いにくい場合はそのままにせず、上長に報告。又、都度伝え続けていくという意識も持つ。	